

# 図書館だより

2026 スタート号

1人3冊 2週間 貸出できます  
1年間で30冊以上借りよう！

増やそう  
知識・雑学！

読むことに  
慣れよう！



☐ 図書館オリエンテーションを行いました 4月21日(火)・24日(金)

ポイント1☆ かしだしきげん 貸出期限を守ろう！

ポイント2☆ 読み物だけじゃない 勉強に役立つ本もある！

ポイント3☆ 新聞、部活に関する本、しりょう じょうほう ゲット その他資料で情報をGetしよう！

ポイント4☆ 図書館ではお静かに。

学校司書から図書館の利用の仕方しかた、池辺先生から著作権ちよさくけんと引用いんようについてお話を聞き、その後は図書館クイズや『ライぶらり』（1年生は小学校になかった本、2・3年生は表紙やタイトルが気になる本を異なる分類こと ぶんるいから2~3冊選び、グループで選んだ理由を話し他の人が選んだ本を手に取り交流）という活動をしました。



選んだ本はそのまま貸出につながり、4月の貸出冊数は319冊。去年の2倍でした！

☐ かしだしさっすう 学年別貸出冊数 (6月1日調べ)

学年	貸出冊数	平均(1人当たり)	学習部目標クリア
1年生	259冊	11.3冊	16名
2年生	122冊	6.4冊	3名
3年生	101冊	3.5冊	3名

学習部の今年度の目標は一人貸出冊数2ケタです。

オリエンテーション後、1年生がよく借りにきています。数字にも表れていますね！

コツコツ読書の積み重ねをしましょう。図書館目標の30冊達成した人も1年生で1名います。

□ 5月26日 読み語りスタートしました！

金城中学校では実に5年ぶりに地域の方に来ていただき、読み語りを行っていただきました。

雲城小学校で朝の読み語りをずっと続けておられる山内さん。

今日は「おはなしのろうそく5」より「うちの中のウシ」

(イバル・ワッツ作 東京子ども図書館編)を読んでもいただきました。



小冊子しょうさつしなので皆さんは物語を耳で聞き、きっと場面を想像し、物語の世界に入っていったことでしょう。

今、目で見て情報処理をすることが多い中、耳で聞いて情報処理をする機会が減っています。

今年度は各学年、学期に1度の予定ですが、耳を研ぎ澄まし、しっかり物語の中に入っていただくね。

□ 今年の課題図書かだいとしょ 本の専門家が新しい本の中から選ぶオススメの本！

「君の火がゆらめいている」 落合由佳 作 講談社

きょうだいだから。「だから」は自閉症じへいしやうの姉をもつ主人公・葉澄はすみを苦しめていくことに…姉を助けたい思いと自分の将来の間で揺れる葉澄。同じくきょうだい児の恵太と一度は仲たがいた倫との関かかわりも読みよみ応えあり！

「チーム・テスならだいじょうぶ」

カビー・ラーソン&クイン・ワイアット 作 杉田七重 訳 鈴木出版

中2の転校生テスは得意のお菓子作りをきっかけにゴキゲンな仲間たちと楽しい学校生活を送り始めた。そんな矢先、誰にも言えないお腹の痛みいたがひどくなり…

「リュウグウの砂に挑む」 チームで小惑星のサンプルを分析

伊藤元雄 著 くもん出版

いろいろな大学や研究所、さまざまな分野の研究者が集まってチームを組み、小惑星探査機しょうわくせいたんさきはやぶさ2が小惑星リュウグウから持ち帰った砂の分析ぶんせきが始まった。信頼しんらいできる仲間とともに挑戦ちやうせんを重ね、見つけたものは？